



土木職員を紹介します！



土木職ってこんな感じ♪

5つの局にわたる幅広い部署に所属し、計画・工事・維持管理といった業務のほかに、政策の立案を行うなど様々な業務に携わっています。造園職等を含め92名と人数が多いのですが、横の繋がりを大事に考え、定期的に土木職員で構成する部会を開催し、情報共有や交流に力を入れています。



こんなことをやっているよ！

都市整備室

計画的なまちづくりを進めるため、都市計画の企画や調整、土地区画整理事業の推進、公園の整備や維持管理などを行っています。その中で土木技術職員は、市民が安全で快適に過ごせるように、まちづくりの基礎となる施設づくりを皆で考え、チームワーク良く業務に取り組んでいます。



トンネル掘削機内の見学状況

道路安全室

明石を住みよいまちにするため、生活に欠かせない道路・交通環境の整備や管理を行っています。最近では、誰にとっても安全で快適な通行空間を整備することに加え、非常時に備え、耐災性の向上や道路ストックの長寿命化等に取り組んでいます。



雨水BOXカルバート工事状況

下水道室

海や川の水質保全、浸水被害の防除などの役割を担う都市基盤である下水道の整備や維持管理を行っています。最近では、市民共有の財産を持続可能な下水道として次世代に引継ぐため、施設の更新や耐震化の工事を行っています。

水道局

市民の生活に欠かすことの出来ない水道水を、「安全・安心・安定」かつ低廉供給し続けることを目指して事業を行っています。最近では、高度経済成長期に建設された水道施設が一斉に更新時期を迎えており、浄水場・配水場・水道管路といった老朽化施設の更新や耐震化に積極的に取り組んでいます。



ここがおすすめ！

明石市で土木職員として働くことは、行政職員として明石のまちづくりの計画から設計、施工監理まで主体的に携われ、自分の思いや考えが直接反映させることができ、とてもやりがいのある仕事です。私たちといっしょに明石の安全・安心・安定したまちづくりをしていきませんか。将来の明石を担う子供たちが安心して住み続けたいと思えるまちを目指して、明石市の土木職員として働きましょう。



明石駅前南地区再開発状況

